



呼吸同機

令和7年度スローガン 「挑み 鍛え 前へ」

若松原中学校学校だより
第15号
令和8年3月19日
発行者 永井高穂



上記QRコードより、「若松原中学校」ホームページもご覧ください。

「挑み，鍛え，前へ」卒業おめでとう！

春の気配から一転，大雪の朝、瑞雪に恵まれた中，第43回宇都宮市立若松原中学校卒業証書授与式が挙行されました。卒業生の立派な歌声はみんなの心を動かし、感動あふれる式にしました。後輩たち，1・2年生は先輩の門出に心を込めて、準備や片付けを行いました。式中也しっかりと態度で敬意を示していました。白く輝く景色の中，多くの来賓、保護者、職員、生徒に見送られ，201名の卒業生が旅立ちました。



201名！いざ，旅立ちの時！

卒業式の式辞より （4つのこと）

①「出会い」を大切にする。「一期一会」という言葉がある。若中での出会いはもちろん，これからたくさんの人との出会いが待っている。「人生，我以外，皆，我が師」。自分以外の人でもモノでも皆，自分に足りないものを教えてくれる。そういう謙虚な気持ちで自分とは違う価値観から学び，自分を高めていってほしい。

②「思いやりの心」を持ち続けよう。現在，グローバル化や絶え間ない技術革新等により，便利な世界になっている。その一方で，世界中の様々な国では，環境問題・貧困・紛争・人権問題等，多くの課題に直面している。そこで，全世界でSDGsの取組が進んでいる。SDGsの取組の土



台は、思いやりや支え合いである。どんなに便利になっても、周囲の人々と、そして世界の人々と共存する上で欠かせないのは、「思いやり」である。思いやりはお互いの心を豊かにする。「思いやりの心」を大切に、持続可能な社会の創り手になってほしい。

③「**あきらめない心**」を大切にする。未来は、明るく洋々と広がっているが、困難な壁にぶつかることもある。「あきらめない心」、「成し遂げようという強い意志」をもって乗り越えていこう。困難は決して嬉しいものではないが、そのような時こそ、「変革や創造のチャンス」。どうしたら解決できるか、「視野を広げ」、創意工夫をし、新たな答えを導き出していこう。

④「**人間力**」を鍛える。人間力を身に付け、鍛えてほしい。人間力とは、自律心、対人関係、知識能力をバランスよく養うことである。ここでは特に自律心、身近な言葉でいうと「我慢すること」。人間力の土台は、自分の感情や行動をコントロールし、謙虚な姿勢をもつことだ。自己制御力（自分をコントロール力）を鍛え、自己の器を広げてほしい。

五若地区防災訓練 3/1(日)

3/1(日)に五若地区防災訓練が開催されました。若松原中からは、生徒会執行部の生徒と少年消防クラブ員合わせて6名が参加し、訓練を行いました。地域住民として中学生として何ができるか、これからも考えてほしいと思います。



1年生レクリエーション 3/17

1年生最後のレクリエーション。校庭を使っのドッジボール大会を行いました。大いに盛り上がりクラスの最後の団結を確認しました。



R8前期生徒会役員立会演説会・選挙 3/13

進級後の自分たちのリーダーを決める演説会。そして、立候補者たちの熱い思い（マニフェスト）を聞いての真剣な投票が行われました。



新2年生・3年生 の皆さんへ

3月25日(水)から4月7日(火)まで14日間の春休みとなります。健康、交通安全はもちろんですが、SNSトラブル等に十分に配慮した生活を送りましょう。卒業式のPTA会長さんがおっしゃっていた「黒板や壁の落書きは消せるが、SNSは全世界に発信され、ぜったいに消すことができない」という言葉を心に留めておいてください。

4月からは、それぞれ進級し、そして、新たに1年生が入学してきます。卒業した先輩方から教えてもらったことを活かし、新たな後輩たちとともに、より良い若松原中学校を築いていきましょう。一人一人が、若松原中学校の代表であることを忘れず進級の準備をしましょう。そして、4月8日(水)元気に登校してきてください。

今年度の「学校だより」は、本号をもって最終となります。保護者の皆様、そして地域の皆様には、本校教育へのご理解ご協力、誠にありがとうございました。今年度も、さまざまな学校行事にご来校いただき、ありがとうございました。また、日頃より学校ホームページの閲覧数は312万アクセスを超え、多くの皆さんに関心を持っていただいております。大変うれしく思っております。新年度につきましても、本校教育へのご理解ご協力を引き続き、よろしくお願いいたします。